

株主の皆さまへ

第138期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日

CONTENTS

株主の皆さまへ	1	沿線散策	9
財務ハイライト(連結)		神奈川県立 花と緑のふれあいセンター 花菜ガーデン	
事業の概況(連結)	3	会社の概況/株式の状況	10
連結財務諸表	5	IRサイトのご案内	
トピックス		株主メモ	裏表紙
●創立90周年イベントを開催	7	株式に関する各種手続きのご案内について	
株主優待制度のご案内について	8		



昭和34年頃



昭和46年頃



平成23年



平成2年



昭和56年頃

ありがとう90年
これからもいっしょに。



神奈川中央交通株式会社



取締役会長 高橋 幹 取締役社長 三澤 憲一

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第138期中間報告書(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響や円高が続いていることにより景気は依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの立て直しなどを受け、供給面の制約がほぼ解消する中で、生産や個人消費などに持ち直しの動きがみられました。

このような状況のもと、当社グループ各社は各部門において積極的な増収策を図るとともに、経費の節減ならびに経営全般の効率化に取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は535億

1百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は29億9千5百万円(前年同期比23.9%増)、経常利益は26億7千2百万円(前年同期比32.5%増)、四半期純利益は14億8千8百万円(前年同期比73.3%増)となりました。

当期の中間配当金につきましては、株主の皆さまへの安定的な配当を重視する観点から、10月27日開催の取締役会におきまして1株につき2円50銭と決定させていただきましたので、ご報告申し上げます。

今後の見通しにつきましては、サプライチェーンの立て直しなどを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されますが、雇用情勢や原油価格の動向に対する懸念など予断を許さない状況が続くと思われま

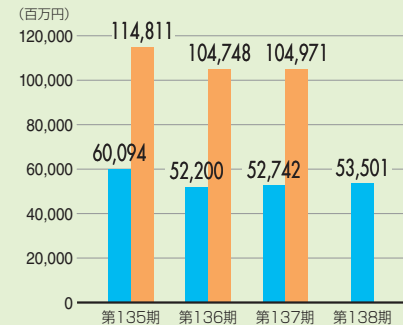
このような環境のもと、当社を中心とする神奈川中央交通グループは、各社の経営基盤を一層強化し、収益力の向上を図ってゆくとともに、リスクマネジメント体制を充実させ、さらなる法令の遵守および企業の社会的責任を遂行し、社会から信頼される企業グループを確立することによって、グループ全体としての企業価値向上に取り組んでまいります。

今後も、経営理念である「お客さまの『かけがえのない時間(とき)』と『ゆたかなくらし』の実現」を目指してまいりますので、株主の皆さまには引き続きより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

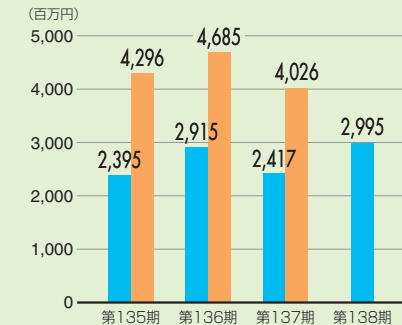
平成23年11月

財務ハイライト(連結)

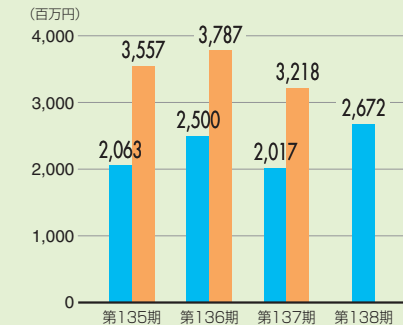
売上高



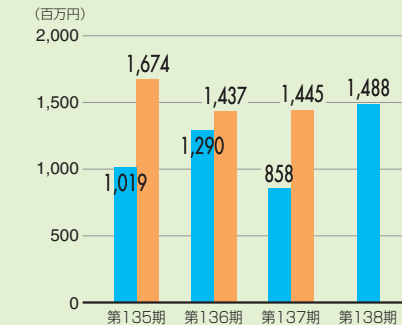
営業利益



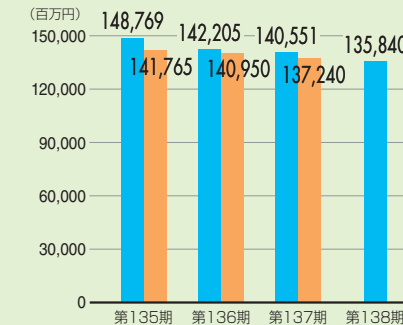
経常利益



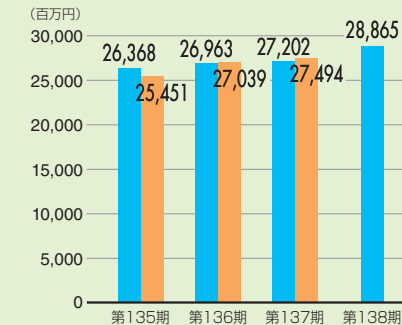
四半期(当期)純利益



総資産



純資産





一般旅客自動車運送事業

乗合業においては、震災による影響などにより利用客数が減少しましたが、5月に東戸塚駅東口～美晴台～上永谷駅線、6月に戸塚駅～上矢部循環線・ラムーナ横浜戸塚線へ車両を投入し、輸送力増強を図り、9月に戸塚駅西口駅前に専用降車場を設置し、利便性の向上を図りました。また、運転操作を記録するセイフティレコーダの導入を路線バス全車両で完了し、安全性の向上に努めました。さらに、前年度におけるバス共通カードの販売終了による影響が解消したことなどにより増収となりました。

貸切業においては、日帰り旅行を企画するなど積極的な営業活動に努めましたが、稼働が大幅に減少したことにより、減収となりました。

乗用業においては、神奈中タクシーグループで「お客様感謝キャンペーン」を実施し、9月より共同配車の実施エリアを町田・相模原・座間地区に拡大するなど顧客獲得に努めましたが、需要の減少により減収となりました。

以上の結果、一般旅客自動車運送事業全体の売上高は289億6千5百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は8億9千6百万円（前年同期比125.7%増）となりました。



輸送力を増強した戸塚駅～上矢部循環線・ラムーナ横浜戸塚線



神奈中タクシーホールディングス 相模原共同配車センター

不動産事業

分譲業においては、平塚市めぐみが丘にて宅地分譲を行いました。前期に比べ販売戸数が減少したことなどにより減収となりました。

賃貸業においては、平成22年12月に賃貸を開始した「秦野駅前ビル」が通期寄与するなど、順調に推移したことから増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は22億3千6百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は11億2百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

自動車販売事業

自動車販売事業においては、商用車販売における既存顧客への営業の拡大や、輸入車販売における新型モデルの発表展示会の実施など積極的な営業活動を行いました。また、震災による商用車の新車供給の滞りなどにより減収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は88億6千万円（前年同期比13.5%減）となりましたが、小型トラックの販売を促進したため、営業利益は2億7千3百万円（前年同期比64.4%増）となりました。



メルセデス・ベンツ新型CLSクラス

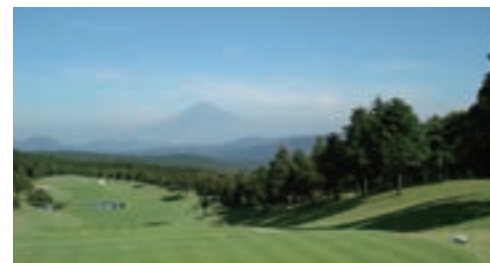
レジャー・スポーツ事業

スポーツ施設業においては、6月に神奈中インドアゴルフスクール平塚校にゴルフシミュレーターを導入するなど他社との差別化を図り新規会員の獲得に努めましたが、既存会員の減少により減収となりました。

ゴルフ場業においては、近隣競合施設との競争力強化を図りましたが、震災の影響による利用客数の減少により減収となりました。

温浴業および遊技場業においては、周年記念イベントの実施等により集客の強化を図りましたが、震災の影響による利用客数の減少により減収となりました。

以上の結果、レジャー・スポーツ事業全体の売上高は50億2百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は2億5千9百万円（前年同期比15.3%減）となりました。



「中伊豆グリーンクラブ」

その他の事業

流通業においては、サイン工事の新規受注や太陽光発電システムの事業拡大により増収となりました。

飲食・娯楽業においては、6月に「らーめん花樂上溝店」のリニューアルを実施し新規顧客の獲得に努めたことや、期間限定メニューの導入や各種キャンペーンを行うなど、顧客満足度の向上に努めました。また、平成22年9月に開業した「ミスタードーナツアリオ橋本ショップ」および「ドトールコーヒーショップアリオ橋本店」ならびに12月に開業した「TSUTAYA辻駅前店」が通期寄与した結果、増収となりました。

ホテル業においては、開業30周年を迎えたグランドホテル神奈中平塚の宿泊部門において、記念特別企画として室数限定の宿泊プランを導入するとともに、飲食部門において記念抽選会を実施するなど、積極的な営業活動を図りました。また、2月に事業譲受した「PIZZA SALVATORE CUOMO綱島店・たまプラーザ店」が通期寄与した結果、増収となりました。

その他の事業においては、震災の影響により減産していた自動車メーカーの稼働の正常化により、商用車架装の台数が増加し、増収となりました。

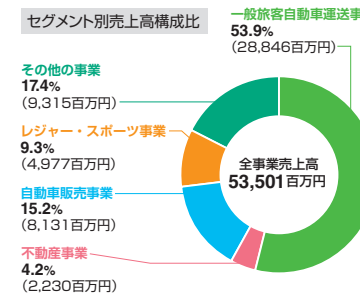
以上の結果、その他の事業全体の売上高は131億2千2百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は5億7百万円（前年同期比3.8%増）となりました。



6月にリニューアルした「らーめん花樂 上溝店」

セグメント情報（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）

（単位：百万円）



※外部顧客に対する売上高を記載しており、セグメント間の内部売上高又は振替高は含まれておりません。

	一般旅客自動車運送事業	不動産事業	自動車販売事業	レジャー・スポーツ事業	その他の事業	計	調整額	連結
外部顧客に対する売上高	28,846	2,230	8,131	4,977	9,315	53,501	—	53,501
セグメント間の内部売上高又は振替高	119	5	729	25	3,806	4,686	△4,686	—
売上高計	28,965	2,236	8,860	5,002	13,122	58,188	△4,686	53,501
営業利益	896	1,102	273	259	507	3,039	△43	2,995



●連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期連結会計期間 平成23年9月30日現在	前連結会計年度末 平成23年3月31日現在
1 資産の部			
流動資産		17,449	16,900
固定資産		118,391	120,339
有形固定資産		101,885	104,041
無形固定資産		1,049	1,126
投資その他の資産		15,456	15,172
資産合計		135,840	137,240
2 負債の部			
流動負債		52,627	50,545
固定負債		54,347	59,199
負債合計		106,975	109,745
3 純資産の部			
株主資本		25,485	24,232
その他の包括利益累計額		823	830
少数株主持分		2,556	2,431
純資産合計		28,865	27,494
負債純資産合計		135,840	137,240

●連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期連結累計期間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
4 売上高		53,501	52,742
売上原価		43,240	43,022
売上総利益		10,260	9,719
販売費及び一般管理費		7,264	7,302
4 営業利益		2,995	2,417
営業外収益		262	274
営業外費用		585	673
経常利益		2,672	2,017
特別利益		161	692
特別損失		255	1,032
税金等調整前四半期純利益		2,579	1,677
法人税、住民税及び事業税		363	361
法人税等調整額		604	347
少数株主損益調整前四半期純利益		1,611	968
少数株主利益(控除)		123	109
4 四半期純利益		1,488	858

●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	期別	当第2四半期連結累計期間 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで
5 営業活動による キャッシュ・フロー		6,472	5,276
6 投資活動による キャッシュ・フロー		△1,132	△3,219
7 財務活動による キャッシュ・フロー		△5,920	△1,901
現金及び現金同等物の 増減額		△580	155
現金及び現金同等物の 期首残高		3,931	2,979
現金及び現金同等物の 四半期末残高		3,351	3,134

1 資産の部

総資産は、自動車販売事業において受取手形及び売掛金が増加しましたが、減価償却などにより、前期末に比べて13億9千9百万円減少し、1,358億4千万円となりました。

2 負債の部

負債は、借入金の返済が進んだことなどにより、前期末に比べて27億7千万円減少し、1,069億7千5百万円となりました。

3 純資産の部

純資産は、利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べて13億7千万円増加し、288億6千5百万円となりました。

4 売上高及び営業利益、四半期純利益

売上高は、自動車販売事業において、震災による商用車の新車供給の滞りなどから減収となったものの、一般旅客自動車運送事業において、バス共通カードの販売終了による影響が解消したことなどにより、7億5千8百万円の増収となりました。

営業利益は、乗合業における減価償却費が減少したことなどにより、5億7千8百万円の増益となり、四半期純利益については6億2千9百万円の増益となりました。

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益25億7千9百万円に減価償却費などを加減した結果、64億7千2百万円の資金収入(前年同期比22.7%増)となりました。

6 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出12億2千4百万円などにより、11億3千2百万円の資金支出(前年同期比64.8%減)となりました。

7 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより、59億2千万円の資金支出(前年同期比211.3%増)となりました。



当社は本年6月5日をもって、創立90周年を迎えました。これを記念し、日ごろご愛顧いただいている皆さまへの感謝の気持ちを込めまして、厚木営業所において記念感謝会を、また舞岡営業所において親子営業所見学会を実施いたしました。

記念感謝会
7月3日(日)開催

開催場所◆厚木営業所

当社およびグループ会社の路線バス、連節バス、観光バスなどの車両を展示し、展示車両の車内において歴代のバスの写真を掲示するなど、当社の90年の歴史に触れていただきました。9年ぶりに走行した代燃車「三太号」や、会場内で行いましたグッズ販売などは、多くの方からご好評をいただきました。

当日は開場前から多くの方にお並びいただくなど、約3,000人の方がご来場されました。



会場内を走行する代燃車「三太号」

親子営業所見学会
7月10日(日)開催

開催場所◆舞岡営業所(現・横浜営業所 舞岡操車所)



整備工場の作業を見学

抽選で選ばれた40組80名の親子を招待し、バスの点検・整備作業の見学や、車内からバスの洗車機を体験していただきました。また、当社およびグループ会社の路線バス、観光バスなどの車両を展示し、子供用の制服を着用しての写真撮影、実際にバスの運転席で先行表示器の切り替えやドアの開閉操作を体験していただくなど、参加された方に「路線バス」を身近に感じていただきました。



車内からの洗車機体験



盛況だった会場内

●株主優待乗車券・株主優待乗車証



株主優待乗車券(回数券式)及び株主優待乗車証(定期券式)は、毎年3月31日及び9月30日最終の株主名簿に記載または記録された1,000株以上ご所有の株主の皆さまに対して、その所有株式数に応じて発行いたします。(それぞれ有効期間6ヶ月間、5月下旬及び11月下旬発送。)
また、株主優待乗車証は申請により発行し、持参人御一名様にご利用になります。

株主優待乗車券及び株主優待乗車証発行基準

ご所有株式数	種別及び発行枚数(6ヶ月につき)		
	株主優待乗車券(回数券式)	株主優待乗車証(定期券式)	
1,000株以上	2,000株未満	10枚	—
2,000株以上	3,000株未満	15枚	—
3,000株以上	4,000株未満	20枚	—
4,000株以上	5,000株未満	25枚	—
5,000株以上	7,000株未満	30枚	—
7,000株以上	10,000株未満	35枚	—
10,000株以上	15,000株未満	40枚	—
15,000株以上	20,000株未満	50枚	—
20,000株以上	25,000株未満	70枚	—
25,000株以上	40,000株未満	乗車券100枚(※)	全路線1枚(※)
40,000株以上	100,000株未満	乗車券50枚	全路線1枚
100,000株以上	500,000株未満	乗車券50枚	全路線2枚
500,000株以上	1,000,000株未満	乗車券50枚	全路線3枚
1,000,000株以上		乗車券50枚	全路線5枚

※25,000株以上40,000株未満ご所有の株主さまにつきましては、株主優待乗車券または株主優待乗車証のいずれかの選択となります。

●グループ会社割引券等

当社のグループ会社の割引券等は、毎年3月31日最終の株主名簿に記載または記録された全株主の皆さまに対して発行いたします。(有効期間1年間、6月下旬発送。)

(株)クリエイイトL&S
神奈中スイミング
(平塚校・小田原校・秦野校)

(株)クリエイイトL&S
フィットネスクラブライフティック
(平塚店・秦野店)

(株)クリエイイトL&S
神奈中インドアテニススクール
(平塚校・小田原校・藤沢校・伊勢原校(アウトドア))

(株)クリエイイトL&S
神奈中インドアゴルフスクール
(平塚校・小田原校・藤沢校)
共通施設体験券2枚及び入会初回月会費50%割引券2枚
●スイミング、フィットネス、インドアテニス・ゴルフでご利用になります。
●入会初回月会費50%割引券は、3ヶ月以上の在籍が必要となります。

(株)クリエイイトL&S
神奈中平塚ボウル
1ゲーム無料券 10枚
●2ゲーム以上プレイされた場合にご利用になります。

(株)クリエイイトL&S
野天湯元・湯快爽快
(たや店・くりひら店)
入浴(入館)料100円割引券 10枚

(株)クリエイイトL&S
中伊豆グリーンクラブ
プレー代等の総額から1,000円割引券 6枚

(株)グランドホテル神奈中
グランドホテル神奈中
平塚・秦野
宿泊、飲食、ケーキ等の10%割引券 6枚
●中国料理「東光苑」泊江店(東京都泊江市元和泉1-8-8 小田急マルシェ1F)でもご利用になります。

(株)神奈中システムプラン
直営店での10%割引券 10枚
【直営店】らーめん花樂(全店)、らーめん味噌工房(町田本店)、はなまるうどん(横浜港南中央店・イトーヨーカドー立川店・ミスターマックス湘南藤沢店)、サーティワンアイスクリーム(平塚ロードサイド店・OSC湘南シティ店・奥川中津ロードサイド店・立川イトーヨーカドー店)、ミスタードーナツ(橋本駅前ショップ・上溝ショップ・原町田ショップ・MrMax町田多摩境ショップ・アリオ橋本ショップ)、ケンタッキーフライドチキン(秦野駅前店・洗沢駅前店)、ドトールコーヒーストック(相模原駅前店・秦野北口店・大和鶴間イトーヨーカドー店・上野浅草通り店・上野中央通り店・立川イトーヨーカドー店・アリオ橋本店)

ご注意 ●(株)神奈中システムプランの割引券は上記直営店のみでご利用になります。
●ご利用可能店舗及び施設は平成23年11月22日現在のものです。



神奈川県立 花と緑のふれあいセンター 花菜ガーデン



「フラワーゾーン」春と秋にはバラの香りに包まれます
(春・5月～6月頃 秋・10月～11月頃 詳細はお問い合わせください)

平成22年3月オープン。園内は、バラやサルズベリをはじめとする四季折々の花の咲く「フラワーゾーン」、農業体験学習のフィールドとしても利用される「アグリゾーン」、展示室やライブラリー、ショップやレストランなどがある屋内施設「めぐみの研究棟」の3つのゾーンに分かれています。花々の観賞に加え、花や野菜に関する様々な情報を、体験教室や展示会、収穫体験などを通して提供しています。

また、花菜ガーデンを含む周辺一帯は関東の富士見百景に選ばれ、園内の見晴らしデッキから晴れた日には富士山や丹沢連峰が一望できます。

近隣には市民農園やいちご狩りセンター、大型農産物直売所「あさつゆ広場」などもあり、一帯は花と緑に親しみ、農業を学び体験できるエリアとなっています。

開園時間、入園料等の詳細につきましては、花菜ガーデンまでお問い合わせください。



「めぐみの研究棟」
体験教室や展示会なども行われます



「アグリゾーン」
稲や季節の野菜などが栽培されています

花菜ガーデン
平塚市寺田縄496-1 TEL0463-73-6170
<http://www.kana-garden.com/>



花菜ガーデンへのお出かけは

- ▶ JR東海道本線 平塚駅北口8番乗場より、平71、74系統秦野駅北口行 他所要時間 17分 運賃 大人240円 小人120円
- ▶ 小田急小田原線 秦野駅北口1番乗場より、平71、74系統平塚駅北口行 所要時間 21～26分 運賃 大人350円 小人180円
バス停「平塚養護学校前」下車 徒歩約5分
- ▶ バスに関するお問い合わせ
(株)湘南神奈交バス 秦野営業所 TEL 0463-81-1803

会社の概況

■ 会社概要 (平成23年9月30日現在)

商号 神奈川中央交通株式会社
本社 〒254-0811
神奈川県平塚市八重咲町6番18号
設立 大正10年6月5日
資本金 31億6,000万円
従業員数 2,875名
事業内容 一般旅客自動車運送事業、不動産事業、
ホテル業、飲食・娯楽業

■ 役員 (平成23年9月30日現在)

取締役会長	高橋 幹	取締役	大木 芳幸
取締役社長	三澤 憲一	取締役	武 静雄
専務取締役	堀 康紀	取締役	大須賀頼彦
専務取締役	福山 裕	取締役	山木 利満
常務取締役	石井 豊	取締役	高橋 明
常務取締役	金子 茂浩		
常勤監査役	大木 幸治	監査役	福島 義章
常勤監査役	石川 建作	監査役	富永 靖雄

株式の状況

■ 株式の状況 (平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数.....2億5,200万株
発行済株式総数.....6,300万株
株主数.....6,673名

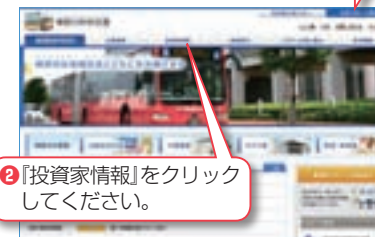
■ 大株主 (平成23年9月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
小田急電鉄株式会社	27,862	44.23
株式会社横浜銀行	3,073	4.88
横浜ゴム株式会社	1,200	1.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	1,000	1.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・ CMTBエクイティインベストメンツ株式会社信託口)	761	1.21
第一生命保険株式会社	600	0.95
朝日生命保険相互会社	600	0.95
明治安田生命保険相互会社	509	0.81
株式会社損害保険ジャパン	500	0.79
日本生命保険相互会社	500	0.79
長尾 忠一	500	0.79

(注)1. 当社は自己株式1,106千株を所有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を含む発行済株式総数に対する割合を表示しております。

IRサイトのご案内

1 当社ホームページのトップ画面より、右上の「企業に関する情報」をクリックしてください。



2 「投資家情報」をクリックしてください。



<http://www.kanachu.co.jp/>

神奈川中央交通

検索

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
剰余金の配当の基準日	(1) 中間配当 毎年9月30日 (2) 期末配当 毎年3月31日	公告方法	電子公告といたします。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 〈電子公告掲載URL〉 http://www.kanachu.co.jp/kanachu/ir/stock/notification.html
定時株主総会の基準日	毎年3月31日		
定時株主総会	毎年6月		
株主名簿管理人 特別口座管理機関	〒105-8574 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社		
同事務取扱所 (郵便物送付先) (電話お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)		

株式に関する各種お手続きのご案内について

株式に関する各種お手続きについて、証券口座で株式を所有されている場合と、特別口座で株式を所有されている場合で、株式に関するお手続きのお申出先が異なりますので、ご案内申し上げます。

●特別口座について

株券電子化施行日までに、所有する株式を証券会社等を通じて証券保管振替機構(ほふり)に預託されなかった株主さまの株式は、当社が開設した特別口座に記録され、株主さまの権利は電子的に管理されております。

特別口座で管理されている株式は市場売却することができません。株式の売却をご希望される株主さまは、証券会社に口座を開設していただき、特別口座から**証券会社口座への株式振替**をご検討くださいますようお願い申し上げます。

●お手続きのお申出先について

主な手続事項	お申出先	
	証券口座で株式を所有されている株主さま	特別口座で株式を所有されている株主さま
<ul style="list-style-type: none"> ●住所・氏名の変更 ●単元未満株式の買取・買増請求 ●配当金受取方法の指定 	お取引の証券会社等	中央三井信託銀行株式会社 お問い合わせ先フリーダイヤル ☎0120-78-2031
<ul style="list-style-type: none"> ●まだお受け取りになられていない配当金の支払請求 ●このほか株式に関する手続等についてのお問い合わせ 	中央三井信託銀行株式会社 お問い合わせ先フリーダイヤル ☎0120-78-2031	



〒254-0811 神奈川県平塚市八重咲町6番18号 電話 0463-22-8800
ホームページアドレス <http://www.kanachu.co.jp/>



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています